

言語バリアフリー関係府省連絡会議（第4回） 議事要旨

1 日時

平成31年4月26日（金） 13:00～13:25

2 場所

総務省8階 第1特別会議室

3 出席者

(1) 構成員等

内閣官房 玉田情報通信技術（IT）総合戦略室次長、内閣官房 健康・医療戦略室 佐々木代理、内閣官房 高橋東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官、内閣府 黒田大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）、警察庁 田中長官官房審議官（国際担当）、消防庁 総務課 澤田代理、法務省 矯正局 吉野代理、出入国在留管理庁 警備課 林代理、財務省 関税局 秋田代理、文部科学省 菱山サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官、厚生労働省 医政局 喜多代理、厚生労働省 老健局 武井代理、農林水産省 青山農林水産技術会議事務局研究総務官、経済産業省 島田大臣官房審議官（商務・サービス担当）、国土交通省 山上総合政策局次長、観光庁 田口代理、環境省 国立公園利用推進室 井上代理

(2) オブザーバ

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）先進的音声翻訳研究開発推進センター 隅田副研究開発推進センター長

(3) 総務省（事務局）

佐藤総務副大臣、吉田国際戦略局長、藤野国際戦略局総務課長、坂中技術政策課長、犬童情報流通振興課長、高村研究推進室長他

4 議事要旨

(1) 開会

(2) 佐藤総務副大臣ご挨拶

佐藤副大臣より、改正入国管理法が施行されたことに伴う外国人労働者の受け入れや今後も多くの訪日観光客が訪れるイベントが目白押しとなっており、訪日外国人、在留外国人と円滑なコミュニケーションが取れるよう多言語音声翻訳機等の ICT の活用に向けた取組を各府省庁と連携して進め

たい旨の発言があった。

(3) 議事

ア 多言語音声翻訳システムの現状

総務省より【資料４－１】に基づき多言語音声翻訳サービスの種類、サーバーの設置形態、政府のクラウド導入原則についての説明があった。

イ 公的機関へのクラウド型翻訳システムの本格導入に向けて

佐藤副大臣より【資料４－２】に基づき公的機関へのクラウド型翻訳システムの本格導入に向けた検討として各府省庁における外国人対応業務の洗い出し、情報の整理・類型化作業に関し、各府省庁に協力を要請した。

ウ 意見交換

観光庁より【資料４－３】に基づき多言語音声翻訳システムの効果検証事業実施報告があった。また、内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室・内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局・厚生労働省・財務省・農林水産省から、公的機関へのクラウド型翻訳システムの本格導入に向けた検討に期待する旨のご発言があった。

(4) 事務連絡

事務局より、次回会合の予定について説明があった。

(5) 閉会

佐藤副大臣より、意見交換における各府省庁からのご発言を受け、今後関係府省庁のご協力の下、公的機関へのクラウド型翻訳プラットフォームの構築に向けた取組を強力に推進し、環境整備に取り組んでいく旨の発言があった。

以上